



「希望・創造・友情」 あふれる学校

すずかぜ

都立花畠学園

第7号

R7/9/25 発行

花畠学園の学校だより



学習のまとめ時期を迎えるにあたって

副校长 前田 憲一

今年の夏は、気温が高く、大変暑い日が続きました。夏休みが終わり、今月より学校が始まっても真夏のような日が続きました。そのような中でも季節は進み、最近では、少しずつ過ごしやすい日も増えてきて秋を感じます。

さて、現在本校では、前期学習のまとめの時期を迎えています。前期の個別指導計画の評価を行い、それをもとに後期の計画を立て、後期の学習が始まります。来月予定している個人面談では、担任より前期の評価と後期の目標について御説明させていただきます。大変お忙しい中と存じますが、御協力の程、よろしくお願ひいたします。

また、来月の24日、25日には、学園祭を実施いたします。開催一か月前となり、各学部学年では、日々、練習に励んでいます。一人一人が練習を重ね、それぞれの舞台で精一杯、自分らしく表現できることを目指し、児童・生徒のみなさんと教職員が一体となって取り組んでまいります。動画発表、体育館発表とともに、御家庭の御協力に感謝申し上げますとともに、発表当日まで御家庭と学校が手を取り合い、児童・生徒のみなさんの頑張りを支え、当日練習の成果を発揮できるよう、引き続き御支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【生活指導部より(防災について)】

生活指導部 担当主幹 芳賀 めぐみ

夏季休業中に「防災教育講演会」を行いました。Kipuka 代表の早川大氏を講師に災害を想定したシミュレーション訓練です。本校が作成している危機管理計画では、災害に対応できるように「連絡班、食糧班、施設班、救護班、避難所支援班、スクールバス班」と 6 つの自衛防災組織があります。研修会ではこの班を中心に、実際の災害を想定し、様々なトラブルに「いつどこでだれがどのように」対応するのかの訓練を行いました。防災教育推進委員の皆様にも御出席いただき、いつ、どのように起きるか分からぬ災害に臨機応変に組織的に対応することの大切さを学んだ一日となりました。

11月には総合防災訓練を予定しています。児童・生徒には毎月の避難訓練に加え、防災週間として、いろいろな防災の体験ができるように計画しております。保護者の皆様には災害を想定した、さくら連絡網での通信訓練、引き取りのシミュレーション訓練を計画しております。詳細は、別途お知らせをいたします。よろしくお願ひいたします。

【研究研修部より】

研究研修部 担当主幹 富沢 聖子

研究研修部は、外部専門員との連絡調整をはじめ、教員の研究授業やその授業を振り返る研究協議会の運営、校内外の研修報告の場の提供など、全校教職員の研究研修活動を支え、日々の授業改善につなげる業務を担っています。

本校では例年、全教員が工夫を凝らした教材を発表・展示する「教材展」を実施していますが、今年度は花畠学園として初めて、近隣地区の教員や保育士の方々を交えて地域に開かれた「教材展」を開催しました。三十名を超える外部参加者を迎えて、教材や授業についてのワークショップを行い、発表にも一層熱が入り、活発で有意義な意見交換の場となりました。

これらの取組みを通して、「分かる」「できる」を大切にした授業づくりを進めるため、そして「主体的・対話的で深い学び」の充実を図るために、教職員が互いに学び合い、高め合える環境づくりに取り組んでまいります。